

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	山熊田長期滞在施設	評価対象年度	令和 2 年度
指定管理者名	山熊田集落	所管課	山北支所産業建設課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年)	評価者(課長)	小田 和弘

①事業実績

利用実績	74人 (参考:H29年度 143人、H30年度 100人、R1年度 126人)
サービス向上の取り組み	施設利用者との会話やコミュニケーションを大切に、自然の楽しみ方や四季折々の良さなど、それぞれの利用者に向けた情報提供を行っている。

②管理経費

区分	前々年度 (30年度)	前年度 (元年度)	当該年度 (2年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	351	358	429	1,138	基本協定額:1,846,257円
	利用料金	167	206	129	502	
	自主事業収入					
	その他	47		1	48	
	計	565	564	559	1,688	
支出	管理経費	565	551	559	1,675	
	(うち人件費)	231	196	256	683	
	(うち光熱水費)	134	149	103	386	
	(うち修繕費)	100	100	101	301	
	(うち委託料)	83	83	86	252	
	自主事業費					
計	565	551	559	1,675		
差引	0	13	0	13		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
公の施設として公平・中立を保ち、利用者の立場に立ち、施設利用者が安全に気持ちよく利用できるように、管理運営を行っている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	5	10.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	5	8.0
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
施設利用者との会話等によりニーズの把握に努めるとともに、要望等に対応した情報提供やサービス提供を心掛けている。特に令和2年度は豪雪に見舞われ、例年よりも多く経費が嵩んだ。また、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、利用者受入を行った。施設の性質により自主事業を行っていない。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由)					
積雪量の多い地域に位置しており、雪下ろし等の作業は集落住民の直接作業により実施し、経費の削減を図っているが、令和2年度は豪雪に見舞われ、例年よりも多く経費が嵩んだ。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が見込めない中において、例年以上に支出の抑制に努め、また、利用者に対しても節約の協力を求めるなど、積極的に経費削減に取り組んだ。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 施設利用者に施設の概要や防災等に関する説明を丁寧に行うなど、防災や事故防止に関する意識が高い。個人情報等についても、高い意識を持って適切に管理している。全ての作業を集落住民の直接作業で実施していることから、浄化槽管理委託以外の再委託は行っていない。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 施設の老朽化が進んでいる状況ではあるが、定期的に維持管理作業が実施されている。				

④総合評価

評価点合計	80.4	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

村上市外からの利用者がほとんどであり、親切丁寧な対応等により利用者の満足度が高いため、リピーターや長期宿泊者が多く、交流人口の拡大に貢献している。
施設の老朽化が進んでいる状況の中で、利用者の立場に立ち、施設利用者が安全に快く利用できるように、適正な維持管理作業を実施している。
また、雪下ろしや清掃等の施設管理についても、作業熟練者を中心として集落をあげて取り組んでいる。
利用者からの苦情等もなく、施設の維持管理については良好である。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の回復が見込まれるか否か分からない中での管理運営は大変ではあるが、施設環境の整備も含めて引き続き利用者が安心して利用できる環境づくりをお願いしたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。